

～地元福岡インターハイへ4名6種目出場(^O^)v～

工藤、女子ハンマー投【大会新】優勝含む3種目でIHへ

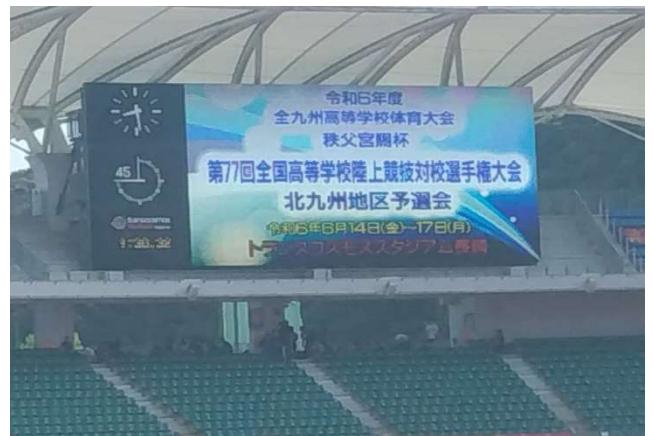
三橋、チーム初のトラック種目（男子110mH）出場決定

矢野、2年連続IHへ（男子ハンマー投）

田子森、執念のIHへ（男子円盤投）

6月14日（金）～17日（月）に長崎県のトランスコスモスタジアム長崎にてインターハイへの最終関門である第77回全国高校総体（インターハイ）北九州地区予選大会が行われた。

本校からは4名6種目でインターハイへの出場権を懸けて挑んだ・・・。



☆工藤、3種目（ハンマー投・円盤投・砲丸投）でインターハイ出場へ！！

工藤実幸乃（3年）は入学時より目標としていた3種目でのインターハイ出場を目指し、筑豊ブロック予選、福岡県予選を順調に勝ち進み、最終関門の九州大会予選へ。

まず円盤投で第6位入賞で手堅くスタートして、続いてメイン種目の女子ハンマー投は2投目、3投目と従来の大会記録を更新して、優勝。最後の種目の砲丸投はさすがに疲労から厳しいコンディションであったが、最終投擲の6投目に自己ベストを更新して第3位で締めくくった。

現在各地区予選終了時点で全国ランキングトップのハンマー投を中心に3種目で地元福岡にて行われるインターハイでの活躍に期待したい。

～工藤実幸乃（3年・石峯中出身）コメント～

九州予選大会では3種目ともベスト更新は出来なかったですが、皆さんの日頃の支えや応援のおかげで3種目でのインターハイ出場を決めることができました。最後のインターハイは悔いを残さないようにできる限りの準備をしてベストを尽くして頑張ります。応援よろしくお祈りします！！



☆三橋、チーム初のトラック種目でのインターハイ出場へ



三橋大輝（3年）は「エンジョイ！楽しむこと」をモットーに110mHに出場。予選レースから出場者全体でのトップ通過を果たし、準決勝のレースも全体のトップタイで通過、決勝レースはさすがに私立の強豪校の選手に跳ね返されたが、第4位でインターハイ出場を決めた。

今まで投擲種目でのインターハイ出場者は多数輩出してきたが、トラック（走る）種目でのインターハイ出場は今回がチーム初の快挙となった。



～三橋大輝（3年・八児中出身）コメント～

九州大会予選の結果は正直、大事なところで力を出し切れず、悔しさが残りました。インターハイまで課題を克服してインターハイでは、ベストを尽くして本当に楽しめるように頑張ります！

☆矢野、2年連続のインターハイ出場へ

矢野ふうが（3年）は男子ハンマー投に出場。シーズンインから本来の調子を取り戻せず、筑豊ブロック予選から苦しい戦いが続いていたが、九州大会予選では予選の一投目に今シーズンベストを出し、そのまま逃げ切り第5位で2年連続のインターハイ出場を決めた。

同種目はチーム歴代でも実績、力のある先輩達が多数在籍していたが、2年連続でのインターハイ出場は矢野が初めての快挙となる。



～矢野ふうが（3年・方城中出身）のコメント～

みなさんの応援のおかげで2年連続のインターハイ出場することができました。インターハイでは自己ベスト更新を目指して最後まであきらめず頑張っていきます！

☆田子森、人生初の九州大会で自己ベスト更新してインターハイへ



田子森吉平（3年）は男子円盤投に出場。大会前のランキングではインターハイ出場圏内の6位からほど遠いランキング圏外（15位）であったが、人生初の九州大会予選への出場の勢いそのままに、最終投擲の6投目に自己ベストを大幅更新して第5位になり、見事インターハイ出場を決めた。

～田子森吉平（3年・千代中出身）コメント～

初めての九州大会予選の出場で不安やプレッシャーもありましたが、自己ベストを更新してインターハイへの出場権を得ることができました。インターハイではチームの歴代記録の更新を目指して頑張ります！！

4名6種目はチームとしては歴代最多の出場種目数となり、7年連続（代替え大会を含む）でインターハイ出場を決めた。

この結果は、福岡県内県立学校では最多の出場種目数となった。

今年は7月28日（日）～8月1日（木）地元福岡の博多の森陸上競技場にてインターハイが行われる。地元福岡の空の下でさらなる躍進を心から期待したい。



“自分への挑戦”！！

インターハイも頑張れ～！

筑豊高校陸上競技部！！

筑豊高校公式キャラクター「プラちゃん」

